



「夏の感染リスクに十分な警戒を!!」

夏季休暇の活動様式について（通知）

岐阜女子大学長

7月20日、岐阜県新型コロナウイルス感染症対策本部は、「現在、10万人あたり新規感染者数、病床使用率ともにステージⅡ以下の水準を維持できていますが、徐々に増加しています。こうした中、いよいよ、人流が活発化する本格的な「夏」が到来します。昨年度の第2波でも、夏休みとともに感染者が急増しました。加えて、感染力が非常に強いデルタ株への置き換わりが世界規模で進みつつあります。我が国でも、特に首都圏においてデルタ株が増加し、第5波の到来との指摘もあります。また、依然、東京オリンピック・パラリンピックを契機とした更なる人流拡大も懸念されます。こうした感染再拡大のリスクが高まるこの夏をいかに乗り切るのか。これは我々一人ひとりの行動にかかっています。」と大きな危機感を抱き、長期の休みを控えている大学等高等教育機関に対し感染拡大防止の強い要請がありました。

本学は、感染リスクの回避を願って、職域接種により早期のワクチン接種を実施しています。今一度、**自身を守り、家族を守り、感染拡大を防止するため**、以下の事項を必ず守ってください。

1 夏対策

〈夏リスクの回避〉

- ・県をまたぐ不要不急の外出は慎重に（特に感染拡大地域への不要不急の往来は控える）
- ・親戚同士の集まりや同窓会など普段合わない人との会合・飲食の自粛
- ・バーベキューは自粛（やるなら同居家族で）
- ・自家用車での乗り合わせ長距離移動の回避

〈オリンピック・パラリンピック対策〉

- ・大人数でのテレビ観戦は自粛
- ・自宅観戦時でも飲酒・飲食は自粛

2 感染防止対策の徹底

- ・マスクの着用、手指消毒、密の回避、体調管理を徹底（継続）
- ・慎重な外出・移動（不要不急の外出は慎重に）
- ・飲食時の感染リスクの徹底回避（コンパ、ゼミ会等懇親会は原則禁止）

3 ワクチン接種機会の活用

- ・ワクチンの接種機会を活用

4 アルバイト先の確認

- ・酒類を伴う接客を主業務とするアルバイトは禁止
- ・アルバイト先の感染症対策を必ず確認

※感染リスクの回避を意識した行動により、有意義な夏季休暇としてください。